

学生生活サポート

数多くの奨学金制度

女性の自立は学生時代から始まります。本学では数多くの奨学金制度を整備して、自分の力で勉学に励もうとする女性たちを応援しています。また「いずみナーサリー」など、環境面の支援も充実しています。

本学独自の奨学金一覧 (平成19年4月現在)

基金の名称	授与対象者	金額	備 考
入学時成績優秀奨学金	入学時に特に成績が優秀であると認められた者	500,000	全学部 平成17年度新設
育児支援奨学金	学部生及び大学院生で本学が設置する保育所を利用する者	保育料の半額	全学部、大学院 平成17年度新設
保井・黒田奨学基金	自然科学関係の研究に従事しその成績顕著な者	30,000	理学部
被服学奨学基金	被服学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000	生活科学部
食物学奨学基金	食物学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000	生活科学部
家庭経営学奨学基金	家庭経営学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000	生活科学部
大学院研究科奨学基金	本学大学院博士後期課程において研究に従事し、その成績顕著な者とする。	70,000 200,000	大学院博士 後期課程
池田摩耶子記念奨学基金	1, 本学大学院において国際的な研究に従事し、その成績顕著な者	100,000	大学院 私費留学生
池田重記念奨学基金	2, 学部、大学院に私費で在学する外国人留学生で、その成績顕著な者	100,000	大学院 私費留学生
湯浅年子記念特別研究員奨学基金	本学出身者又は在学する学生で自然科学関係の研究に従事しその成績顕著な者	250,000	理学部
数学奨学基金	本学出身者又は本学大学院博士前期課程及び学部に進学する者で、数学の成績顕著な者とする。	100,000	理学部
生物学優秀学生賞奨学基金	本学学部及び大学院博士前期課程に進学する者で、生物学の成績顕著な者とする。	20,000	理学部
大学院進学桜蔭会研究助成基金	本学学部を卒業し、大学院博士前期課程に進学する学生に対する研究への助成	200,000	大学院 平成18年度新設
桜蔭会奨学金	各学部より推薦された3年生に対して桜蔭会から奨学金	100,000	各学部より4名

奨学生数 (平成19年1月時点)

区 分		在学生徒数	日本学生 支援機構	本学独自の 奨学金	奨学生数	比率
学 部	文教育学部	983	283	3	286	29.1%
	理学部	594	143	9	152	25.6%
	生活科学部	594	163	11	174	29.3%
	小計	2,171	589	23	612	28.2%
大 学 院	人間文化研究科(前期)	552	150	4	154	27.9%
	人間文化研究科(後期)	512	83	10	93	18.2%
	小計	1,064	233	14	247	23.2%
計		3,235	822	37	859	26.6%

「育児しながら研究成果も上げられる雇用環境モデル」が多くのメディアに着目されました。インタビューを受けた理学部助手の矢島知子さん(35)は、支援効果を次のように語っています——「ほとんどゼロだった自分の実験のための時間を確保できるようになりました。本当に助かっています」。



本学には二つの学生寮があります。板橋区の国際学生宿舍と、大学から徒歩3分の小石川寮です。国際学生宿舍は、日本人学生と留学生が同じ建物に住んで、日常的なふれあいをとおして互いに助けあい、交流して、国際的視野を身につけています。小石川寮は大学4年生と大学院生が主たる住人で、大学に近く、研究の利便性が強いです。どちらも個室。自分一人の時間を持ちながら、多くの友人を作れる場所です。

学生生活サポート

数多くの奨学金制度